



1学期を終えて

教育現場で使う言葉に『100日の努力』というものがあります。これは、「目標を持ち、取り組みを始めると100日後にようやく結果が表れはじめる。だから、頑張って努力を100日間続けよう。」という意味です。100日というと3～4ヶ月間です。ちょうど1学期間になります。

4月当初、各クラスや個人でめあてを持ち1学期の間、頑張ってきました。記録や点数、上手になったことなど、目に見える伸び。辛抱強さや優しさ、挑戦意欲、好奇心など、以前の自分と比べて感じ取れる伸び。1学期を終えて、それぞれの努力の成果が見られました。

夏休みは、学校でするのはちがう学習や体験をたくさんすることができます。これも子どもたちにとって貴重な成長の機会です。休み明けには、さらに成長した子どもたちに会うのを楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様には波佐小学校の教育活動に関心を寄せていただき、多くの支援をいただきました。本当にありがとうございます。明日から39日間の夏休みが始まります。休みの期間も子どもたちへの見守り声がけなど温かいご支援をいただきますようお願いいたします。



[詩の音読発表]



[理科の授業場面]



[外国語の授業場面]

学校の風景

給食の時間。その子は好物のコーンを大事そうに皿の端に寄せていました。最後に食べるのを楽しみにしていたのでしょうか。その日はもう一つの好物コロッケも出ていました。思案したその子は、コロッケの上にコーンをのせ、また給食を食べはじめました。向かいに座る子は、その様子をじっと見ていました。しばらく談笑した後、向かいに座る子の皿にふと目を下ろすと、コロッケの上にお肉が一切れのっていました。

8月9月行事

< 8月 >

- 10～18日 学校閉庁
- 14日(水)波佐地区慰霊祭
- 25日(日)親子奉仕作業
- 28日(水)始業式

< 9月 >

- 3日(火)ラブック号
- 15日(日)波佐地区大運動会
- 17日(火)振替休業日
- 20日(金)JP貯金
- 25日(水)全校集会



水防訓練

6月26日に水害を想定した避難訓練を行いました。昭和58年の水害の教訓を生かすために、本校ではずっと続けてきています。訓練では金城支所防災安全課の浅井さんに、子どもたちだけでなく、学校職員も指導していただきました。子どもたちからは「家に一人でいるときはどうしたらいいか?」「電話が通じなくなったらどうすればいいか?」など、真剣さの伝わる質問がでていました。浅井さんの「おとなは経験が邪魔して避難が遅れることがある。訓練を生かして、もしもの時は迅速に行動して欲しい。」というお話を聞き、想定外の事態が起こる昨今、子どもと共に自己判断の力を付けなければならないと感じました。



波佐ほたる祭り

6月22日(土)に第18回波佐ホタル祭りが開催されました。地域の一大イベントに、今年も波佐小学校全児童で参加し「はざっ子よさこいソーラン」を披露しました。

子どもたちは、陸上大会が終わるとすぐによさこいソーランの練習を始めました。休み時間や放課後の短い時間を使って、高学年が中心となり、グループ練習、全体練習と計画的に進めました。来場くださる方々に波佐小のチームワークのよさを見てもらいたいと、一つ一つの動きに気をつけながら練習を積んできました。



当日はアンコールをいただき、卒業生のみなさんにも飛び入りで参加してもらい、大変盛り上がりました。

後日、地域の方から「波佐小の踊りは毎年いいが、今年は特に良かった。動きがきれいに揃っていたし、卒業生や先生も入っての踊りは、また一段と盛り上がった。」とお褒めの言葉をいただきました。励みにして、今後も地域と共にある学校として頑張りたいと思います。

本が大好きなはざっ子



波佐小の子どもたちは学校図書館をよく利用します。子どもが使いやすい図書館の整備、本の紹介や興味を引く掲示(思わず足を止めます)などの環境整備のほか、毎週金曜日には『ぼこあぼこの会』の皆さんによる読み読みの時間があり、子どもたちの読書環境はとても充実しています。



[代かきの掲示と本の紹介]